

JBA「創薬モダリティ基盤研究会(仮称)」 設立について

**一般財団法人バイオインダストリー協会
先端技術・開発部**

JBA「創薬モダリティ基盤研究会(仮称)」 趣意書(案)

- ▶ バイオインダストリー協会では情報発信と新規事業開拓を狙って、各種研究会活動を行っている。会員企業の関心が高い次世代抗体医薬・核酸医薬・遺伝子細胞治療・ペプチド医薬・再生医療・デジタル医療などの創薬モダリティに関する新しい研究会を立ち上げる。
- ▶ 創薬モダリティの対象としては、次世代抗体医薬、核酸医薬、遺伝子細胞治療を中心に、ペプチド医薬・再生医療・デジタル医療などへ視野を広く持ちたい。
- ▶ 新規モダリティ創薬を結実させるためには、多彩な関連技術やパートナーなどの創薬エコシステムが不可欠である。
- ▶ 新規研究会では、世界の中の立ち位置を把握し、必要な基盤技術群の構築と充実を目指し、
 - ・セミナー聴講による情報共有(技術紹介、海外動向、政策動向など)
 - ・研究会内でのクローズドな議論
 - ・ビジネスを進めやすくするための規制緩和などの政策提言
 - ・国家プロジェクトを立ち上げての基盤構築を活動の柱におく。
- ▶ まずはセミナー開催による情報共有を皮切りに活動をスタートさせたい。

一般財団法人バイオインダストリー協会

JBA「創薬モダリティ基盤研究会(仮称)」 体制図とコアメンバー(案)

会 長：久保庭 均氏(中外製薬(株)顧問)
副会長：和田 猛氏(東京理科大学教授)
副会長：木村 正伸氏(タカラバイオ(株)取締役)

JBA事務局

会員企業・アカデミアメンバー

第1回JBA「創薬モダリティ基盤研究会(仮称)」 (キックオフ・ミーティング)(案)

▶ 日 時：令和元年11月27日(水)15:00～18:00

▶ 場 所：(一財)バイオインダストリー協会

▶ 次 第：

1. 設立挨拶(15分, 3分×5名)

- ・塚本 芳昭 (一財)バイオインダストリー協会 専務理事
- ・阿部 啓子 (一財)バイオインダストリー協会 代表理事 会長
- ・久保庭 均 中外製薬(株)顧問
- ・新階 央 経済産業省 商務情報政策局 生物化学産業課 産業分析研究官

2. 議案1：JBA創薬モダリティ基盤研究会 規約承認(10分)

3. 議案2：JBA創薬モダリティ基盤研究会 役員選出(10分)

4. 講 演：「押し寄せるモダリティの津波のなかで」

宮田 満氏(株式会社 宮田総研 代表取締役 兼 日経BP社医療メディア局アドバイザー)

遺伝子細胞治療、再生医療、核酸医薬、中分子など、新しいモダリティの実用化の波に、製薬業界は翻弄されている。しかし、ここは一度立ち止まり、冷静に、どんなモダリティがどんな疾患に適しているか？ブレイクスルーすべき点は何か、また創薬モダリティとどう向き合うべきかについて、検討していきたい。

5. 入会者1分間スピーチ(30分)

6. 懇親会

問合せ先：創薬モダリティ基盤研究会(仮称)事務局 渡邊、岸本、橋本、矢田

今後の予定

- ▶ キックオフミーティング (第1回研究会) . . . 2019年11月末
 - ・ 設立(規約承認・役員選出)
 - ・ 講演
- ▶ 第2回研究会(講演会 クローズド) . . . 2019年12月～2020年2月
 - ・ 講演 . . . 次世代抗体医薬、核酸医薬、遺伝子細胞治療など
 - ・ ディスカッション
- ▶ 第3回研究会 . . . 2020年3月
 - ・ 公開講演 . . . AsiaTIDES、BPI Asia等からの選定内容によるセミナー (予)
- ▶ 講演会等を随時開催 . . . 2020年4月以降

添付資料

創薬モダリティについてのアンケート調査結果

(核酸医薬、抗体医薬、バイオエンジ、創薬関係の4セミナーにて: 有効回答数 43)

▶ 興味のあるモダリティ

次世代抗体医薬 36 > 核酸医薬 25 > 遺伝子・細胞治療 24 > 再生医療 23
> ペプチド医薬 21 > デジタル医薬・医療 15

▶ 期待する内容

セミナー聴講 43 > クローズド議論 20 > 国プロ立上げ 12 > 政策提言 10

創薬モダリティ基盤研究会 (仮称) 立案・立ち上げイメージ

(例) 抗体創薬のときの創薬エコシステム
各種技術・製品をもつ企業群が創薬を支えている

創薬モダリティ
抗体
核酸
中分子
遺伝子治療
細胞治療、等
に必要な基盤
技術群についての
研究

